

コンパス薬局横浜西 スキルアップ勉強会

2017.7.8 加納

第119回 『コムクロシャンプー』

マルホ株式会社 池田 健吉 様

参加者：小西 加藤 加納 渡辺 吉岡 前田

コムクロシャンプー0.05%は、ストロングクラスのステロイドであるクロベタゾールプロピオン酸エステルを0.05%含有する頭部の尋常性乾癬治療に効能・効果を有するシャンプー剤である。

乾癬は、表皮細胞の異常増殖・角化異常、活性化T細胞を主体とする炎症細胞浸潤及び血管増生を特徴とする炎症性角化症であり、寛解と増悪を繰り返しながら経過する難治性の皮膚疾患である。臨床所見により乾癬の病型は5つに分類されるが、本邦では約9割が尋常性乾癬であり、乾癬患者の約76%で頭部に皮疹が認められている。

尋常性乾癬では、全身的な副作用が少なく、軽症から重症までと適応範囲が広い外用療法が基本的な治療法とされている。しかし、頭部の尋常性乾癬では多くの患者が現在の治療に満足しておらず、Quality of Lifeも障害されたとの報告がある。また、頭部や顔面は薬剤の経皮吸収率が高く、ステロイドによる皮膚萎縮などの局所性副作用に特に注意が必要な部位である。

【効能・効果】

頭部の尋常性乾癬

【用法用量】

通常、1日1回、乾燥した頭部に患部を中心に適量を塗布し、約15分間後に、水または湯で泡だて、洗い流すという

【特徴】

通常、1日1回、乾燥した頭部に患部を中心に適量を塗布し、約15分間後に、水または湯で泡だて、洗い流すという Short contact therapy を用法としたクロベタゾールプロピオン酸エステルを含有するシャンプー様外用液剤である。以前から経皮吸収率の高い頭部にベリーストロングからストロングスのステロイド剤を塗布することによる安全性が問題視されていたが、コムクロシャンプーは Short contact therapy を可能としたことから、乾癬への効果を発揮すると同時に安全性も高い薬剤といえる。

【副作用】

国内第Ⅲ相試験臨床試験において、本剤を投与した 78 例中、本剤による副作用は認められなかった。(承認時)

【考察】

通常、乾癬はベリーストロングからストロングスのステロイド剤を使用することが多く、副作用も懸念されて来た。しかし、コムクロシャンプーは Short contact therapy により、その副作用の軽減ができる薬剤である。刺激により乾癬の範囲が広がる可能性があるため、シャンプーの仕方に注意が必要である。また、洗い流した後、目に入ると白内障のリスクが上がる可能性があるため、投薬時しっかりと流し方など説明が必要になると考えられる。

【質問事項】

Q1. デルモベートスカルプローションとコムクロシャンプーでの効果の差はあるのか。

A1. データなし。海外ではデルモベートゲルと同等というデータがある。

Q2. 洗い流すことで体に薬剤が付着して副作用は出ないのか。

A2. 洗い流すという観点から体に付着した薬剤も流れるため副作用は出ないと考えられる。

Q3. 洗浄効果はあるのか。

A3. 患者アンケート調査で約半数が洗浄効果に満足している。

以上